



一般社団法人 奈良教育大学同窓会竹柏会会報

まほろば

第 3 6 号



目 次

○会長挨拶	2
○学長挨拶	3
○令和4年度決算報告・監査報告	4
○令和4年度会務報告・令和5年度活動方針・同窓会総会案内	5
○追悼 橋本清先生を偲んで・役員紹介	6
○同窓会だより・支会だより	7・8
○会員だより・キャンパスだより	9・10
○奈良教育大学戦争遺構パンフレットの作成	11
○学生クラブ・サークルだより	12～15
○学生会員からのたより	15・16
○事務局だより・編集後記	16

「奈良町の一隅」

東井 貞夫 (S55)

観光客で賑わっている「奈良町」をぶらぶら歩いていますと、見覚えのない幾つもの店舗に気が付きます。その変化に驚き、ここは何の店だったのかなど記憶をたどりながら“観光”をするのも時には楽しいものです。反面、見慣れた店は年々少なくなって、人出が多くなればなるほど、寂しさを覚える瞬間があります。

今思えば、以前に知っていた記憶の中の景色と現在の目の前の景色を合わせて眺めているように思います。作品は、興福寺の塔が遠方に見え、懐かしさが感じられる場所を探し歩いて出会った折の風景のひとつです。

**ご挨拶**

同窓会竹柏会会長

久保 三左男

**母校の発展と
会員の幸せを願って**

会員の皆様におかれましては、日々健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染者の数も減少し、日常が戻りつつあります。ここまで3年間余り、とても長い年月が経過したことになります。新型コロナウイルスが発生した時、過去のスペイン風邪について調べてみました。死亡者は全世界で約5千万人、流行が収まるまでに約3年間かかったとありました。今回も収束までに同じ期間を要したことになります。

この間、会員の皆様におかれましては、大変な気遣いの中、それぞれの仕事に携わってこられたことに敬意を払うとともに本当にお疲れ様でしたとねぎらいの言葉をおかけしたいと思います。

さて、今年度から会長を仰せつかりました私は昭和41年3月に母校を卒業しました。昭和41年4月には国立奈良教育大学へと改名されましたので奈良学芸大学最後の卒業生となります。会員の皆様方にご支援ご協力をいただき会長職を全うしたく思いますのでよろしくお願い申し上げます。

「学芸大学は一般教養を重視する、リベラル・アーツ・カレッジを模範とし、第二次大戦後旧師範学校を母体とし設置された大学。」(広辞苑)とあります。義務教育の教員を養成する役割は大きくありましたが、教職を履修しない学生は学芸学士として卒業し一般企業や公務員として就職し活躍されてきました。

母校は令和4年4月1日国立大学法人奈良女子大学と法人統合し国立大学法人奈良国立大学機構奈良教育大学と改名し新たな人材育成に取り組まれています。新しい国立高等機関として、教育・研究面機能強化が期待されています。更なる発展を大いに期待しています。

さて、同窓会は設立130周年事業で「クラブハウス建設基金」の募金を会員の皆様方に呼びかけ、千名を超える会員と趣旨賛同者・企業等から20件の協力をいただき、千二百八十万円余りの基金を積み上げることが出来ました。ご支援に対し改めて感謝申し上げます。この次は150周年事業になりますが、今後はその時のために事業基金を積み上げていきます。

令和5年度は、日常が戻りつつありますので、これまで実施できなかった事業を計画し、会員の皆様のご参加

を得て有意義な活動になりますよう実施していきます。それぞれの事業の案内は会報「まほろば」でおこないますのでよろしくお願い致します。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

全都道府県に同窓会の支会を！

現在、奈良県・大阪府・三重県・京都府には支会があり、それぞれの地で、同窓生の集いがもたれています。お互いの親睦を深めたり、後輩との交流を通じて育てる作業を企画し催しを実施したりしています。

同窓生は北海道から沖縄まで全ての都道府県に在籍しています。まずは、数人からの集まりでも結構ですので各地で取り組んでみてください。同窓会の事務局に連絡いただければ、支会の持ち方について援助させていただきます。卒業生が各地で集まり絆を深め、学生時代を振り返ることは長い人生の中で意義あることだと考えます。どなたからでも結構です、遠慮せずにご相談ください。連絡をお待ちしています。

同窓会の活動を支えているのは皆様からの会費です。

平成12年度(2000年)の会費納入者は3,825人で金額は約789万円でしたが、令和4年度(2022年)の会費納入者は学生会員を除けば1043名(学生会員325名)で金額は約218万となり、大きく減少してきています。職場であるいは支会で会費を徴収した時代から振込制度に変更した事による減少もあるかも知れませんが、それ以上に同窓会に対する関心が低下してきていることを痛感しています。

同窓会は母校と卒業生を結ぶ大切な役割を担っていることを自覚し、正確な母校のニュースをお伝えするとともに会員の活躍を紹介していきます。どうか会員の皆様、会費の振り込みにご協力いただきますようお願いいたします。会費の振り込みの便宜を図るために、コンビニ振り込みやスマホ決済を導入したりして工夫を進めてきています。会費の納入は年度毎に終結しますので、過去に遡っての請求等はございません。

今年度も学生会員への援助を強化します

コロナ禍の中で援助を求めている学生がいることを知り令和2年6月に同窓会から大学へ学生支援金として30万円を寄贈いたしました。令和4年度は大学祭への補助金を増額し、クラブ活動補助等として33万円を援助しました。今後も学生生活が有意義に過ごせるための援助を進めていきます。

奈良へのご案内

会員の皆様コロナ禍の長いトンネルも明かりが見えてきた今日この頃です。奈良は春夏秋冬どの時期に訪れていただいても温かく歓迎してくれます。学生時代を思い起こし、奈良の地を訪れ探索してください。奈良はきっと皆様の心を癒やしてくれるものと思います。

結びに会員の皆様のご健康ご多幸をお祈りしご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

奈良教育大学学長

宮 下 俊 也

「過去を敬う」ということ

例年より格段に早くおとずれた今年の春。同窓会より贈られたウジョウシダレ、ベニシダレ、ヤエベニザクラたちも、それにつられるように急いで咲き始めてくれました。これは地球温暖化のせいかもしれませんが、長いコロナのトンネルを抜け、またもとのように若人の笑い声溢れるキャンパスを待ち焦がれていた自然がそうさせてくれたように私には思えます。

ちょうど昨日(5月21日)、2023年度同窓会竹柏会の総会がありました。98歳で今なお矍鑠とされている宮前清和先生(昭和20年ご卒業)、陸上競技で今も破られていない65歳の100メートル日本記録をもつ北良夫先生(昭和30年ご卒業)、前会長として多大なるご尽力をいただいた中川克巳先生(昭和28年ご卒業)はじめ、36名の錚々たる同窓生に囲まれ、あらためて奈良教育大学の歴史の重みを実感しました。そして、この歴史に新たな1ページを加えるべく在学生とともに、過去を敬い未来を築く使命と責任を強く認識いたしました。

昨年のこの「まほろば」に、私は、本学と同じほどの歴史を持つ母校、長野県飯田高等学校の同窓会のことにも触れました。これについてももう少しお話しさせていただきます。

2000年に迎えた独立100周年記念行事の際、私は同校にある国産10番台を誇るピアノの演奏に招待されました。行事が終わった後、控室で会った当時の在校生

たちに対し、私はこう述べました。

「君たちは過去に浸ってはいけません。未来を見て生きよ」と。

なんと愚かな言葉をかけてしまったのだろう。あの時、傍らでこの言葉を聞いていた当時の同窓会長さんの無表情は、「この若造も、やがて過去を敬うことの尊さを知る時がくるだろう」と思っていたに違いないと、それからかなりの時を経て思うようになったのです。このことが、昨日、再び思い出されました。

国立大学は、今も、そしてここ10年以上、次々と改革を迫られ、それに追われ、ひと時も立ち止まって改革をやめることができなくなっています。国民の尊い税金によって運営されている国立大学ですから、次々と変貌する現代社会に対応して変革していかなければならないことは、考えてみれば当然のことなのかもしれません。その時、歴史や過去を敬わず、新しいものだけをふわふわと求め続ける意識と行動は、たとえ改革(のようなこと)ができたとしても、それはきわめて薄っぺらい、その次へと続く歴史の構築には決してならない、ということを、昨日の竹柏会が再び私に教えてくれました。

コロナが終息に向かいつつある中で、今度はウクライナでの戦争に起因する諸物価や光熱費の高騰で、どの国立大学も財政的に非常に追い詰められた状況にあります。本学もそうです。それでもなんとか知恵を絞り、過去にあった苦難を乗り越えてきた奈良教育大学の歴史を学び、学生の教育と環境だけは質を下げることをしないよう、全教職員が一致団結して努力していきたいと思っています。最後はお願いになってしまいますが、どうか引き続き、本学のさらなる発展のためにお力を賜れば幸いです。

新代表理事である久保三左男先生はじめ、全国の同窓生、竹柏会諸氏のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

未来を育む基金 ご支援のお願い

昨今の光熱費や物価の高騰により、学生の修学や本学の各種事業が大きな影響を受けており、一部事業を取りやめるなど、非常に厳しい状況が続いています。

この中で、奈良女子大学との法人統合を契機に、奈良女子大学との教育研究連携や、県内の国立・県立の学術機関との包括的な連携(産地学官連携プラットフォーム設立)など、新たな取組を進め、本学の教育研究の充実に努めております。

どうか、奈良教育大学基金(同封パンフレット)へのご寄附等、皆様のあたたかいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。
(奈良教育大学総務課)

令和4年度 一般社団法人奈良教育大学 同窓会 竹柏会 一般会計 決算報告
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(歳入の部)

単位：円

款	項	本年度予算額(A)	3月31日現在(B)	比較増減額(A-B)	備 考
会 費		5,320,000	5,220,707	△ 99,293	
	1 通常会費	2,280,000	2,180,707	△ 99,293	会員及び正会員 1043名
	入学時	2,396,000	2,396,000	0	学生272名 院生53名
	2 入会金	0	0	0	
	入学時	644,000	644,000	0	学生269名 院生53名
繰 越 金	前年度繰越金	2,259,323	2,259,323	0	
利 子	利子及び雑収入	10,000	42,307	32,307	寄附、広告料、利子等
合 計		7,589,323	7,522,337	△ 66,986	

(歳出の部)

単位：円

款	項	本年度予算額(A)	3月31日現在(B)	比較増減額(A-B)	備 考
事 業 費		4,100,000	3,012,144	1,087,856	
	1 広報費	2,500,000	2,091,384	408,616	「まほろば」35号印刷、発行等
	2 卒業記念品費	230,000	119,320	110,680	卒業証書用筒、紙袋
	3 研修費	300,000	0	300,000	
	4 徳・得講座	120,000	65,040	54,960	講師謝金
	5 支会活動助成	500,000	406,400	93,600	支会活性化対策費
	6 学生活動助成	300,000	330,000	△ 30,000	大学祭、自治会支援、学生基金繰入
管 理 費	7 教育のつどい	150,000	0	150,000	
		1,700,000	607,616	1,092,384	
	1 役員旅費	800,000	328,680	471,320	理事、支会長等旅費
	2 備品費	300,000	2,980	297,020	賞状盆
	3 消耗品費	100,000	17,477	82,523	印刷用紙、事務用品等
	4 通信費	150,000	111,355	38,645	切手・はがき・電話料金等
	5 賃借料	100,000	59,499	40,501	コピー機リース料、コピー代
会 議 費	6 事務局運営費	250,000	87,625	162,375	登記料、税務謝金、事務室管理運営
		350,000	38,657	311,343	
	1 理事会費	50,000	25,563	24,437	理事会お茶
	2 正会員総会費	30,000	8,054	21,946	正会員総会お茶
	3 支会長会費	20,000	5,040	14,960	支会長会、評議員会お茶
	4 全体総会費	250,000	0	250,000	
事業基金		1,000,000	1,000,000	0	
	事業基金	1,000,000	1,000,000	0	令和4年度分基金として繰入
予 備 費		791,323	101,152	690,171	
	予備費	791,323	101,152	690,171	会費返金、祝儀 等
合 計		7,941,323	4,759,569	3,181,754	

差引現在高 7,522,337円 - 4,759,569円 = 2,762,768円
2,762,768円は、次年度に繰り越します。

事業基金現在高 (令和5年3月31日現在)
南都銀行 (定期) 3,816,642 円 (令和4年度基金100万円、利子171円を含む。)

学生活動助成基金現在高 (令和5年3月31日現在)
南都銀行 (普通) 220,228 円(税理士からの寄附3万円を含む)

令和4年度の会計については、上記の通りであることを報告いたします。
令和5年3月31日

会 計 久保三左男

会 計 森本 五枝

会計監査報告

令和4年度の会計決算報告書を詳細に監査いたしましたところ、諸帳簿等はよく整備され、正確適正に処理されていることを認めます。

令和5年4月19日

監 事 野 阪 雅 美

令和4年度 会務報告

4月 4日 大学入学式(学生と教職員のみ)
 4月 8日 会計監査を受ける
 4月13日 第1回理事会
 4月20日 第1回まほろば編集会議
 4月30日 第1回正会員総会
 出席39名・委任状60名 計99名
 第2回まほろば編集会議
 5月 7日 大阪市興東会総会
 5月15日 総会(コロナ禍のため中止)
 5月18日 第1回理事連絡協議会
 第3回まほろば編集会議
 5月20日 第4回まほろば編集会議
 5月24日 学生(自治会等)との話し合い(徳・得講座等)
 5月29日 五條支会総会
 6月 1日 第5回まほろば編集会議
 6月 7日 クラブハウス棟竣工式
 大学・理事・学生各代表参加
 6月 8日 第2回理事連絡協議会
 第6回まほろば編集会議
 6月15日 大学当局との話し合い
 (銘板3枚目取付、クラブハウス共用室に
 掲示板・机・椅子を寄贈)
 第7回まほろば編集会議
 6月30日 銘板3枚目取付工事
 まほろば35号発行
 7月13日 第2回理事会
 第1回徳・得講座: 参加者23名(内学生14名)
 講師: 中川会長・楠理事

8月22日 学生(自治会等)との話し合い
 (一日研修旅行について)
 9月 7日 第3回理事連絡協議会
 9月30日 大学中間卒業式: 学部4名・院生2名
 10月 3日 運営委員会
 10月 7日 大学との話し合い
 「国立大学法人奈良国立大学機構」について
 10月12日 第3回理事会
 10月29日 第2回正会員総会
 第1回支会長会
 11月11日 第4回理事連絡協議会
 12月10日 大和郡山支会総会
 12月12日 大学との話し合い
 財務状況の報告を受ける
 12月14日 第5回理事連絡協議会
 第2回徳・得講座: 参加者16名(内学生6名)
 講師: 中川会長・香川理事

令和5年

1月11日 第4回理事会
 第3回徳・得講座: 参加者15名(内学生4名)
 講師: 楠理事
 1月28日 支会長・評議員合同会議
 2月 8日 第6回理事連絡協議会
 3月 6日 大学との話し合い
 「経営戦略室」設置の説明
 3月 8日 第7回理事連絡協議会
 3月23日 卒業式に向けての準備
 3月24日 大学卒業式
 卒業生: 298名・学部252名・大学院46名

令和5年度 奈良教育大学同窓会竹柏会 活動方針

- 目 的** 奈良教育大学同窓会竹柏会は、会員相互の親睦を図り、教育並びに社会の進展に寄与することを目的とする。
- 重点目標** また、大学の教育方針にそって協力し、大学並びに竹柏会の更なる発展をめざす。
1. 大学当局との連携を確かにし、大学の充実と竹柏会の発展に努める。
 2. 会員相互のふれあいを大切にし、同窓会意識の高揚を図るとともに会費納入への理解を深める。
 3. 学生会員に向けての支援活動を拡充する。体育・文化部活動への援助を行う。
 4. 樹木の管理等、学内環境の整備に努める。
 5. 年間事業の活動と支会活動との連携を密にする。支会を援助し、新しく支会を設立する。

Information

令和6年度 同窓会総会のご案内

■日 時: 令和6年5月19日(日) 午前11時から

■場 所: 奈良ホテル TEL:0742-26-3300

出席希望者は令和6年4月末までに、事務局へ(FAXか電話で)お申し込みください。

参加希望者申込先 TEL:0742-21-6101・FAX:0742-21-6102



追悼 橋本 清理事を偲んで

亡き橋本清さんのご功績に想う

吉田 貴子 (S35)

令和4年9月24日、橋本理事の突然の訃報に一瞬、耳を疑い、なかなか信じることができませんでした。

数日前の理事連絡協議会では、元気に仕事をし、22日には電話を掛けてきてくれて話をしたばかりでした。

しかし、悲しい出来事は現実の事でした。奥様のお話では、23日の朝食時に突然の心筋梗塞で亡くなられたとのことでした。

常日頃「自分の自慢は元気なこと、大きい病気になっ

たことはない」と、ご自身の健康に自信をもっておられたのに……残念でなりません。

思い返せば、几帳面で真面目な努力の人でした。口数の少ない人でしたが、話す時には大抵同窓会の事で、仕事に対する真剣さをうかがい知る事ができました。

広報委員会で「まほろば」編集に長い間携わられました。他にも、記念事業の趣意書作成、銘板の起案、各種会議の開催や進行も中心となって活動されました。

どんな仕事に取り組む時も、黙々と着実に責務の遂行に務められ、本当に不言実行型の人でした。橋本さんのご功績は、必ず今後の同窓会の充実、発展に結びつくことでしょう。

数々のご功績に感謝し、今は心からご冥福をお祈り申し上げます。

安らかに眠りください。さようなら。

令和5年度 奈良教育大学同窓会竹柏会 役員紹介 (敬称略)

名誉会長	宮下 俊也	代表理事	久保 三左男	理事	四野宮 康子	竹柏会委員	中澤 新治
顧問	柳澤 保徳	理事	松原 さおり		中村 倫子		豊田 弘司
	長友 恒人		小谷 勝彦		山田 恵敏		深田 展巧
	長田 光男		井村 崇暢	監事	金治 延幸		西岡 由郎
	西田 史朗		香川 一実	竹柏会委員	岩橋 恭子		林田 晃典
	中川 克巳		小林 邦子		武村 恵美		山崎 淳美
名誉理事	井上 三夫		森本 玉枝		向出 佳司		枝元 哲
	松村 恵司		増田 辰夫		山田 昇		今井 美之
	北 良夫		吉田 誠		滝川 満夫		
	吉田 貴子		近藤 義之		銭本 三千宏		

支会長	奈良市	中西 弘樹	支会長	吉野	森嵐 敏彦	評議員	生駒市	上西 均	評議員	御所	野阪 雅美
	天理市	村井 稔正		高校	石澤 竜義			出原威佐夫		五條	尾崎 和弘
	大和郡山市	三村 精一		大阪市東区	木村 鑑廣		生駒郡	稲浦 聡		内吉野	杉田 好雄
	山辺	上浦 一道		東大阪市	金治 延幸			中谷 英二		吉野	久保 隆
	生駒市	松村 恵司		八尾市	浦上 弘明		桜井	脇田 正美			小原 康子
	生駒郡	宮前 清和		京都	久保三左男			北川 雅尚			森嵐 敏彦
	桜井市	向出 恵宥		名張	淵矢 俊成		磯城郡	前川 美幸		高校	稲葉 功
	磯城郡		評議員		西田美智子			松村 宙亨		大阪市	池田 眞一
	宇陀	田中 三彦		奈良	阪東 俊行			松岡 清之			安田 信彦
	橿原市	山本 秀樹			福西 正剛		宇陀市	向井 清		東大阪	松川登志子
	高市郡	上西 義次			村田 秀治			田中 三彦			植田 勝
	大和高田市	吉川 淳		奈良東部	谷嶋美智子		橿原	原田須加子		八尾	加藤 賢一
	北葛城郡	増田 辰夫			阪部 保			中島 浩一		京都	井戸野仁司
	香芝市			天理	喜多 健一		高市	西井 良之			濱 喜代巳
	葛城市				山田 恵敏		高田			三重	廣瀬 裕司
	御所市	野阪 雅美		大和郡山市	熨斗 慎司		北葛	森岡 義博			布村 進
	五條市	小松 靖幸		山辺	齊藤 順		香芝				
	内吉野	久保 隆			今本 泰啓		葛城	宅 康次			

同窓会だより

正会員(推進委員)総会報告

令和5年4月29日、奈良教育大学山田ホールを会場に正会員総会が開催された。「正会員総数118名のうち、39名の出席と64名の委任状がある」との報告があり、総会の成立が確認された。中川克巳代表理事が開会の挨拶で、総会への参集の謝辞と退任について話し、「正会員(推進委員)」の名称と、会費納入促進について説明があった。

議長に増田辰夫理事が選出され、令和4年度会務報告・決算報告・会計監査報告、令和5年度理事・監事について審議し、満場一致で承認された。

新しく就任した久保三左男代表理事より、会則の変更・令和5年度活動方針が提案され、予算案と共に満場一致で承認された。松原さおり理事が閉会の挨拶を述べ、総会は終了した。



「正会員(推進委員)」について

本会は、令和2年より「一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会」として会則を定め、会員の種類を、正会員・一般会員・学生会員の3種とし、一般社団法人に関する法律上の社員を「正会員とする」としました。

正会員は総会での議決権を有し、同窓会活動の推進を担っていただきますので、令和5年度より「正会員」の名称に(推進委員)を添えて、その役割を明確化しました。

年会費は3,000円(1,000円単位での増額可)で、新しく「正会員(推進委員)」への登録をしていただける方は、同窓会事務局までご連絡ください。

令和5年度の総会において、規約を一部改正し、正会員(推進委員)総会の開催を年1回にすることにしました。

令和4年度「まほろば徳・得講座」は盛会に開催されました。

経験豊かな講師が「教員になるために大切にしたいことや実践例」を講演いたしました。在学生たちも良い先生になることを目指して、熱心に学びました。

大学HPに受講者の「声」を掲載しております。ご覧下さい。

▶令和4年度講師

中川 克巳氏・楠 隆彦氏
香川 一実氏



令和5年度「まほろば徳・得講座」開催予定

令和5年度も「まほろば徳・得講座」は本学と同窓会との連携をより深めて、幅広い受講者を対象に開催されます。

豊かな教育経験を持つ講師先生の講話のもと、会員(在学生・院生)の皆様と一般会員の皆様と共に学びましょう。皆様、奮ってご参加下さい。

▶第1講 7月5日(水) 13:30 ~ 15:00

場所：山田ホール

テーマ：「人事担当者が求める学生」

－面接試験までに知っておくと得する話－

講師：久保 三左男氏

秋の一日親睦研修旅行開催

水都大阪観光「水上バスアクアライナー体験」& 平和学習「ピース大阪」を通して同窓会員同士の交流と連携を図る



10月15日(日)に開催します。

費用・行程・詳細等は7月頃、大学同窓会HP、奈良教育大学公式Instagramにてお知らせします。

同窓会
ホームページ



奈良教育大学公式
Instagram



参加申し込み

同窓会事務局宛にメールかファックスでお申し込み下さい。

メール：nakayodoso130@gmail.com FAX：0742-21-6102



同窓会総会の開催

令和5年5月21日、奈良ホテルを会場に同窓会総会を開催しました。

コロナ禍のため3年間開催が中止となっていました。久しぶりの総会に36名の同窓生が集まりました。

第1部では、ご来賓の宮下俊也学長よりご挨拶をいただき、久保三左男代表理事から退任理事へ感謝状が贈呈されました。

第2部では、北良夫名誉理事の乾杯で懇親会が始まり、料理を楽しみながら話に花が咲きました。マイクがテーブルを回ると、近況報告や得意の歌を披露してくださる方もあり、会場が同窓会ならではの和気あいあいとした雰囲気になりました。昭和20年卒業から、令和の卒業の方まで、幅広い年代の交流ができ、「次年度の開催も楽しみにする」との声もいただきました。



同窓会だより



支会だより

大阪市興東会近況報告

木村 鑑廣 (S61)

令和5年度の大阪市興東会総会を令和5年4月22日(土)正午から、道頓堀ホテルで開催しました。

これまで新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、この3年間大阪市興東会は、新春や定例の総会などを自粛してきました。

今回は、宮下俊也奈良教育大学長をはじめ、久保三左男竹柏会代表理事・近藤義之興東会退職校長会長を来賓にお迎えし、またOB、OGの方々にも参加していただき、会員は29名参加し、久しぶりににぎやかで和やかな総会を行うことができました。宮下学長からは、今般の諸物価高騰のあおりを受けて、大学の光熱水費がかさみ、窮余の策として現在寄附を募っているとのことがありました。

さて、大阪市興東会は現在、校長部7名、副校長部1名、教頭部18名で主な活動を行っています。今年度の事業として、管理職昇任試験のための研修会のほか、

壮年部、青年部、女性部を含めた会員相互の組織強化のための会合などを計画しています。

3年ぶりの開催とあって、参加者の顔ぶれも若干若返り、新たな結びつきを深めることができたほか、新たに管理職になった先生方、退職後5年間の校長再任用期間を満了し、いよいよ第二の人生へと船出する先輩としばしの歓談をすることができ、誠に有意義なひと時を過ごすことができた次第です。最後に、退職校長会の中澤新治先生のたつての願いから、参加者全員で奈良教育大学学歌を歌い、同窓会の固い絆を確かめることができました。



令和5年度 教育のつどい

奈良県の教育関係者をお招きしての懇親会です。

▶ 令和5年12月16日(土) 12時～ ▶ 会費：8,000円

▶ ホテル日航奈良 (JR奈良駅西側 TEL:0742-35-8831)

▶ 参加申込先 TEL:0742-21-6101・FAX:0742-21-6102

Information



会員だより

さようなら「さんばち会」

松本 守正 (S38)

令和4年(2022)11月7日、「さんばち会」はその歴史に幕を閉じました。本会は昭和34年に奈良学芸大に入り、昭和38年(1963)に奈良学芸大学小学校教員養成課程を卒業した者の会で、高畑キャンパスでまるまる4年を過ごした最初の卒業生です。

卒業後は「三八会」として5年に一度ほど集まり、旧交を温め情報交換していましたが、退職(平成13年・2001)を機に「さんばち会」と名称を変え、今回で24回になります。

オープニングに和太鼓の演奏や南京玉すだれの披露があったり、明石海峡大橋をバックに記念撮影したり、宇陀では温泉に入ったりと開催地ならではの趣向も見られました。

主会場であるホテルリガーレ春日野では、Mさんの編曲もテンポも変幻自在のシンセサイザーで学生時代の名曲の大合唱、Kさんの篠笛、Nさんの日本舞踊、全員で炭坑節踊りなど、学生時代では知りえなかった交流をしました。また、節目の古希や喜寿には食事もちょうぴり豪華にしました。

退職後は農業に精を出す者、ゲンジホテルやチョウ

の飼育・繁殖に取り組む者、故郷の自治会活動で走り回っている者、趣味の写真や絵画にのめり込んでいる者、高齢者施設でボランティアをしている者など新境地を開拓する者もいます。

喜寿を過ぎる頃から「あそこが痛い、あの病院がよい、〇〇を食べるとよい、ウォーキングがよい、晩酌は控えめに」等々、健康に関わる話題が多くなりました。そんなこんなで、卒業から60年を節目に、会を閉じることにしました。

これが最後かと思うのか、話にも歌にも踊りにも熱が入り大盛況でした。「今日の日はさようなら」「星影のワルツ」を声高らかに歌い、母校奈教大の弥栄と、お互いの健康を祈りつつお開きとしました。



第16回 さんばち会
令和4年11月7日 於 ホテルリガーレ春日野

真の「古事」を求めて

石井 正信 (S44)

この度、真の「古事」を求めて『日本人の源流』を刊行しました。

縄文文化が世界遺産になったことを機に、『古事記』の神話が縄文の海進により、縄文前期から始まるこ

と等、「古事」が史実であったことを確信しています。京奈和・御所南の中西遺跡の発掘で葛城王朝が存在し、神倭伊波禮毘古命(神武天皇)の皇子の神八井耳命から第15代目が太安万侶です。中西遺跡は、国立歴史民俗博物館の年代測定によると大和への稲作の伝播、紀元前550年とも合致します。

NHK「まほろしの大国」で放映された「大倭国」の統一や、日本人が東アフリカから南海諸島を経て黒潮の北限・常陸の国の鹿島に着いた事など、「古事」の伝承が地質学・考古学と数学的考察から、史実であったと確信します。

私達は、only one earth の乗組員です。混迷の世紀を縄文の精霊崇拝、和魂で乗り切ろう。拙著には、カラーの挿絵が随所にあり息抜きができます。

拙著は、唐古・鍵遺跡の道の駅「レスティ唐古・鍵」にも置いています。

(お問い合わせは、同窓会事務局まで)



本書29頁、多神社本殿・四殿(田原本町)

47年間の教員生活を終えました！

会員だより

阿部 茂 (S46)

奈良教育大学での4年間の大学生活を十二分に謳歌し、1971年(昭和46)卒業した。

小学校に赴任したが職場に馴染めずに1ヶ月でやめた。校長からは「おまえの人生はむちゃむちゃ」と言われた。大学の学生課の人には迷惑をかけたが、「自分の一生のことだから気にしないでもいい」と言われ、随分慰められた。発憤して他大学に編入学し、28歳の時に大阪府立高校に採用された。

昨年3月で47年間の教員生活に終止符を打った。赴任した当初は下手な授業でも生徒は真剣に聞いてくれ、「なんて教員の仕事は楽しいんだろう。」と思った。指導教員などいなかったが、周囲から何でも教わった。校長からも「責任はすべて私が取らから、若さを発揮してどんどん思ったことに挑戦してみては！」という話があった。少し驚いた。私を始め何人かがへまをした。なかには学校にどなりこんできた保護者もいたが、校長は一切一人で対処した。生徒の思いを尊重する指導を心がけてきたが、生徒指導や、教科指導でも大変

困惑したこともたびたびあった。

昨今、周囲の若い同僚を見ていると、教科や生活、クラブ指導などを勤務時間を超過してこなしている。しかし、長時間労働の問題もあり、管理職からは成果を問われるし、保護者の目もある。それに新しい研修制度も始まる。しんどいことばかりで、我々の教員時代と様変わりしている。全国的に教員の志願者が少なく採用試験の競争率も低くなってきており、憂慮される事態になっている。だが、教員という仕事はやりがいがあり、魅力ある職業には違いないと長年教員をしてきて確信している。

若い先生や、これから教職を目指している学生諸君に「がんばってね！」とエールを送らずにられない。



正会員総会に参加して

油野 美津子 (S40)

奈良教育大学の同窓会、竹柏会に目を向けたのは昨年でした。それまでは学校に勤め、父母の面倒を見、主人の看護、もちろん子育ても含めて毎日毎日が必死でした。でも若いから大丈夫！ 今、やっと自分の事だけを考えたらい年齢になり、なつかしい大学を思い出しました。正会員の総会に参加し、色々と同窓会のお世話をさせて頂いている役員の方に感謝申し上げたいと存じます。

私は家政科でしたから、もちろん家庭科の教師として定年まで勤めさせていただきました。でも、小学生の頃から合唱部に入っていましたので、歌手にもなりたいと夢を持っていました。30年位前に作曲家の先生

とめぐり合いCDデビューをしました。

14曲、今は日本クラウン結城彩としてテレビ出演もさせていただいております。YouTubeでも配信しております。

大学では河の会で昼休み校庭の芝生でうたう会を開催し、楽しんでおりました。懐かしい！



キャンパスだより

入学生はどの都道府県から？

(令和4年度、卒業高校所在地で調査)

1 大阪府	73名	7 静岡県	5名
2 奈良県	68名	8 香川県	4名
3 兵庫県	25名	滋賀県	4名
4 京都府	17名	三重県	4名
5 愛知県	8名	福岡県	4名
6 岡山県	7名		

卒業生の進路は？(令和4年3月卒業修了者)

*資料：令和4年大学概要

教員	幼稚園	10名	公務員	21名
	小学校	44名	企業	52名
	中学校	28名	大学院進学	39名
	高等学校	11名	保育士等	4名
	大学短大高専	0名	未就職者	24名
	特別支援学校	2名		
	期限付採用	74名		
				【合計309名】

奈良教育大学 戦争遺構パンフレットの作成

奈良教育大学の高畑キャンパスが、
戦前陸軍の駐屯地であったことはご存じでしょうか。

文責 ● 奈良教育大学戦争遺構保存会 学校教育講座 板橋 孝幸

学内には、現在も多くの戦争遺構が残されています。このたび、学生有志が「奈良教育大学戦争遺構保存会」を立ち上げ、「奈良教育大学戦争遺構パンフレット」を作成しました。パンフレットは、大学のホームページに掲載しているほか、正門前の守衛室に置いて外部からの来校者にも配布しています。

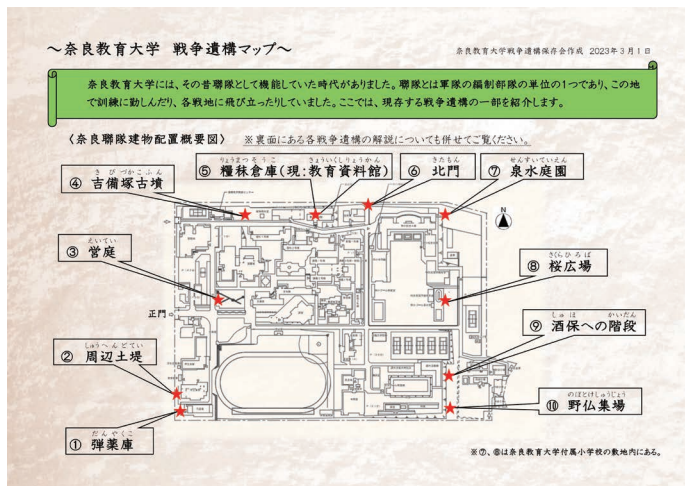
今年度の入学式では、学長の告辞で保存会の紹介があり、パンフレットは新入生のオリエンテーション資料の1つとして配布されました。昨年度卒業した保存会のリーダーであった北吉迅人さんは、パンフレット作成の取り組みについて本学ホームページで次のように説明しています。

このパンフレットを作成するに当たって、奈良県立図書情報館や奈良教育大学図書館での資料集めや、大学内の戦争遺構をめぐるフィールドワークなどを行い、歴史に思いを馳せ、今後の生活をどのようにしていくのかということを考える場として残していくための方法や文章を考えました。ただ単に戦争に反対するだけでなく、なぜ戦争が起こるのか、なぜ戦力を持たなければならなかったのか、どのようにすれば戦いのない世の中を作ることができるのかということを考えることが平和学習としてできることなのではないでしょうか。少なくとも私たちはそのような願いや想いを込めてパンフレットづくりに励みました。

本学構内には、複数の戦争遺構が存在するにも関わらず、それらを知ることなく卒業していく学生が多くいると思います。このパンフレットを見て、少しでも「戦争」や「平和」について考えるきっかけにいただければ幸いです。

戦争の悲惨さや平和の尊さやについて、ロシアとウクライナによる戦争でより考える機会が増えているように感じます。保存会では生協学生委員会による「ピースナウなら」、筆者が担当する授業「道徳教育の理論と方法A」や「教職実践演習」による平和学習などの取り組みとも連携しながら、本学の戦争遺構保存と平和についての学びを深めていきたい

と考えています。同窓会のみならずにも、守衛室で本パンフレットを受けとって構内を散策していただけたら幸いです。



出典：https://www.nara-edu.ac.jp/news/2023/03/war_remains_map.html



学生クラブ・サークルだより

女子ハンドボール部

現在、プレイヤー 14名・マネージャー 1名で元気に活動しています。活動曜日は、月・水・土曜日でアルバイトや学業と両立を頑張る部員ばかりです。4月からは春リーグが始まっており、今まで以上にチームが一致団結して練習、試合ともに取り組んでおります。

この春リーグをもって4回生が引退するため、悔いの残らない試合をしたいです。「いつでも笑顔で！」これをモットーに、今後の活動も頑張っていきます！



絵画サークル

現在11名で活動しています。木曜日に、それぞれの目指す絵画表現と向き合い作品を制作しています。各自油絵やペン画などを描いています。基本的には個人制作を行っていますが、それぞれの絵に対し意見やアドバイス、相談などを行い集団だからこそできる高め合いを行っています。

サークルでのグループ展を昨年は行い、学外に向けて作品発表を行いました。グループ展や公募など、それぞれが目標に向かい日々技術の鍛錬に取り組んでいます。



ユネスコクラブ

ユネスコクラブはESDを楽しく追究すること、ESDを実践できる教員になることを目指して104名で活動しています。野外活動の支援や出前授業を通した子どもとの関わりとESDの計画と実践、そしてセミナーやシンポジウムなどESDを学ぶ機会に部員一人一人が積極的に参画し、持続可能な社会の創り手の育成に資する活動を続けていきます。



ワンダーフォーゲル部

私たちワンダーフォーゲル部は山登りをメインとして活動をしています。部員は約40名で企画があるたびにその中から多くて10人ほどが集まり登山をしています。行く山は初心者簡単に登れる山から上級者向けの山まで色々あり、自分に合った山の企画に参加しています。

活動は月に1回の土曜日が日曜日で予定が合う人が参加し、参加は自由なので皆がゆるく楽しく活動しています。

またワンダーフォーゲル部では山だけでなく、バーベキューをしたり、お散歩のような企画もあったりと、山登りは少ししんどいという人でも必ず楽しめる機会があるので少し運動したいという人でも入部してみてください。

創作ダンス部

現在36名で活動しています。月・火・木曜日で年に3回のイベントに向け、部員全員で日々練習に励んでいます。ほとんどがダンス未経験者ですが、学業と両立し、各々のペースで楽しく活動しています。

輝薨祭はジャンルの作品だけでなく、個人チームも多数出演し、部にとって1番大きなイベントになっています。



ダンスサークル

私たちは現在、1回生3名、2回生3名、3回生1名の計7名で活動しています。舞踊場でK-POPのダンスや流行りのダンス等をコピーして楽しく踊っており、コピーしたダンスは毎年大学祭で発表しています。また、踊っている様子はInstagramやTikTok等のSNSにあげていますのでお時間ありましたらぜひご覧ください。



TNP(東市日本一プロジェクト)サークル

現在20名ほどで活動しており、毎週水曜日の放課後、東市小学校の子どもたちに勉強を教えたり、一緒に遊んだりしています。

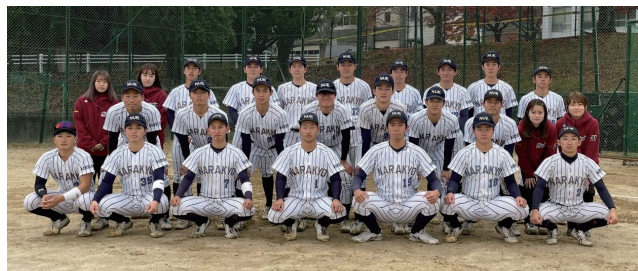
ただ勉強をしたり、遊んだりするだけでなく、子どもたちに自立する力を身につけさせたいという思いで活動をしています。東市小学校の子どもたちの日々の成長は、活動のやりがいを感じることもでき、とても嬉しいです。

今年度はコロナの影響でこれまでできていなかった奈良市内の探索や合宿などに向けて、準備を進めようとしています。

硬式野球部

現在選手29名、マネージャー5名の計34名で活動しています。月・水・木・土曜日の週4日、奈良教育大学グラウンドにて練習しています。

近畿学生野球連盟に所属しており、令和5年度春季リーグ戦において、Ⅲ部優勝を果たしました。学生主体でチームを運営し、大学関係者の方々・地域の方々をはじめとした多くの人から応援されるチームになれるよう日々練習に励んでおります。「昇格」を目標に、部員一同精進して参りますので応援よろしくお願い致します。



奈響ネブ

奈良教育大学アカペラ部「奈響ネブ」は、他大学生も含め現在12人で活動しています。それぞれが空き時間に集まり、5人～6人でバンドを組んで、学校・学年関係なく楽しみながら練習をしています。バンドではそれぞれがパートに分かれ、相談やアドバイスをすることによって、バンド全員で一つの音楽を作り出しています。

〈昨年度の参加イベント〉

- ・第73回輝菴祭 11/1参加
- ・てんしばacappella Garden 9/10開催
- ・なんばパークスMUSICGARDEN 1/15開催
- ・エンパ×奈響ネブ×OS(三大学交流会) 11/5開催



剣道部

毎週火・木・土曜日大学内剣道場にて稽古を行っています。部員数は10名です。

例年は関西学連剣道大会、関西学連優勝大会、若木杯争奪関西学生剣道大会に出場のほか、大阪教育大学・京都教育大学・兵庫教育大学との定期戦や奈良県内6大学との定期戦を行っています。お互いを高めあう雰囲気の中、日々稽古に取り組んでいます。



漫画研究会

奈良教育大学漫画研究会です。現在14名で活動しています。季節ごとに部誌を作る活動を主とし、たくさんの方々に作品を見ていただけるよう取り組んでいます。

昨年の文化祭では、コロナも落ち着いたため一般での参加が可能となり、ご来場頂いた方々に150部とたくさんの方々の部誌を受け取ってもらうことができました。

今年は新入部員が2人入りました。新しいメンバーでより一層活動に励んで参ります。



少林寺拳法部

私たちは2回生3名、留学生1名、計4名で活動しています。毎週水・土曜日でそれぞれ2時間ずつ修練に励んでいます。一人ひとりがそれぞれ昇級・昇段することを目標に、切磋琢磨し合って稽古をしています。

また、市民大会、県大会等へも積極的に参加し、時期ごとに大会に向けての練習も行なっています。



ウィンドアンサンブル

奈良教育大学ウィンドアンサンブルは、奈良女子大学、奈良県立大学の学生を含めた49名で、水・金・土の週3日活動しています。また、今年度は、奈良教育大学の交換留学生が5名入部してくれました。「音楽がしたい！」という熱い思いを持った部員が集まって、日々楽しみながら練習に取り組んでいます。

年末に行われる定期演奏会を見据えながら、近隣の幼稚園や小学校への依頼演奏や、地域のイベントでの訪問演奏など、たくさんの人に気持ちを届けられるような音楽を作っています！



ラグビー部

現在31名で活動しています。週3回の練習や試合を行い、大会に向けて体力の向上とスキルの習得に励んでいます。初心者の方でも歓迎し、基本的な技術から丁寧に指導しています。

毎年、他大学との交流試合や大会にも積極的に参加しており、ラグビーを通じた新しい出会いを大切にしています。応援よろしくお願いします！



弓道部

弓道部では、1回生7人、2回生8人、3回生5人、4回生3人、院生2人、マネージャー3人の28人で活動しております。月・水・土に審査や大会に向けて日々練習に励んでおります。ほとんどの部員は成人限定の大会である「三十三間堂通し矢」を目指して初段審査の合格を目指します。

大会では、9月のリーグ戦を初め様々な大会に出場しています。現在奈良教育大学は5部リーグに所属しており今年度の昇格を目指して日々練習に励んでいます。



合気道部

現在4回生1名、3回生2名、2回生2名、1回生10名で活動しております。週一回火曜日に初段獲得のため、技の稽古に励んでいます。週一回という短い時間ですが、メリハリのある集中した雰囲気の中で活動できています。

初段獲得のための審査練習だけでなく、様々な演武大会に出場するために演武の練習にも取り組んでいます。大会の成績としては、残念ながら結果を残すことができておりませんが、反省点を生かし、次に繋がれるように精進しております。

男子サッカー部

私たち体育会男子サッカー部は、プレイヤー17人、マネージャー5人で火・水・金・土・日に活動しています。

現在、関西学生サッカーリーグ4部に所属し、3部昇格を目指して活動しています。

サッカーをずっと続けてきた人、ブランクを経て大学から再開した人、大学から始めた人など様々な部員がいますが、「周りの人から応援されるチーム」を目指し、互いに支え合い、高め合いながら活動しています。

【昨年度成績】

関西学生サッカーリーグ4部Bリーグ 3位
4部Bリーグ 優秀選手賞 1名選出



男女硬式テニス部

現在17名で活動しています。月・水・土曜日に、初心者から経験者まで、皆で技術向上を目指し練習に励んでいます。合同練習や試合などを行っており、他大学との交流もあり、先輩・後輩の隔てなく楽しく活動しています。



茶道部

現在部員10名で活動しています。月曜日と水曜日の午後に、本学卒業生の先輩に裏千家茶道を学んでいます。

昨年は大学祭での茶道体験、日本全国の大学の茶道部によるリレー茶会など、お稽古以外にも多くの活動を行いました。今年は部員数が増え、狭く変則的な部屋で工夫を凝らしお稽古をしています。より充実した活動のため、秋からは炉が必要です。安全なIH式で普通の釜が使えるので、古く揃っていない畳を新しい炉の設置できるものにしていただきたいと思います。今日この頃です。



水泳部

「After コロナ」の世の中になり、あらゆる規制が緩和されてきました。課外活動では、コロナウイルスが流行した当初は全く活動を行うことができず、活動が再開しても試合が開催されない状況でした。

しかし、約1年前頃から徐々に課外活動の規制が緩和され、試合も開催されるようになりました。

現在はコロナウイルスが流行する前と同様、シーズン中は大学の50mプールで週5日泳いでいます。またオフシーズンは大学の近くにあるスイミングスクールで週2日練習を行っています。コロナ禍になるまでは多くの新入部員がいたのですが、コロナ禍になってからは新入部員の数減少傾向になっています。

水泳部では、泳げるようになることはもちろん水泳指導ができるため、今後多くの学生が入部してくれることを期待しています。

この度は、クラブ・サークルへの心温まる援助を賜り、ありがとうございました。今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。

学生会員からのたより

学生自治会

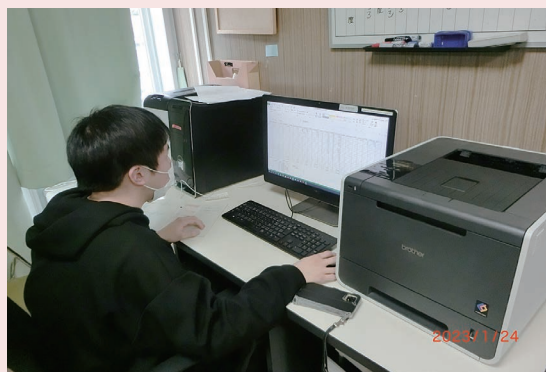
こんにちは、学生自治会執行委員会です。私たち学生自治会執行委員会（以下、本会）は現在2年生5人1年生2人の計7人で活動しています。学生自治会は奈良教育大学学部生全員をもって構成され、その中でも本会は文化系部活動・サークルの所属する文化会、体育会系部活動・サークルの所属する体育会を通じて全部活動・サークルの統括、学生支援課からの要請に応じた行事の実施と指揮を行っています。

特に大きな仕事として、新年度に行われる「サークルオリエンテーション」、毎年7月最終週の水曜日に行われる「学生大会」が挙げられます。サークルオリエンテーションは新生が入部活動・サークル（以下、各団体）を知り、参加を検討する機会として学生支援課からの要請によって実施されています。学生大会は学部生全体の過半数の出席をもって開催され、本会役員の承認及び罷免、会計予算及び決算の報告、大学祭実行委員会による大学祭運営に関する報告などが行われ

ています。

そのほかサークル援助金と呼ばれる資金の配布も行っています。こちらは各団体へ直接受け渡しを行うことで、本会と各団体の交流機会の一部としても機能しています。同窓会の皆様から頂きました活動支援金につきましては一度文化会・体育会に分配し、その後各団体の活動の手助けとなるよう活用させていただいております。

裏方的な仕事が多くあまり認知度が低い本会ですが、学生生活の一助となるようこれからも尽力していきます。



学生会員からのたより

大学祭実行委員会

委員長 谷口 陸斗

初めまして、私たちは大学祭実行委員会です。

私たちは毎年11月に行われる大学祭「輝薨祭」の企画・運営をしている団体です。

100人を超えるスタッフが一丸となり、より良い輝薨祭を作るために日々活動しています。

輝薨祭では、附属の幼稚園や小学校の子どもたちに向けた子どもフェスティバルというイベントや、学生たちも楽しめるお化け屋敷やのど自慢大会など様々なイベントを行っています。

昨年度のテーマは今年こそコロナに勝ったええ感じの奈教をという由来から「今、奈教ええ感じやねん。」になり、規制も緩和されたことで、コロナが流行する以前に行っていた模擬店も開催することができました。それによって、子どもたちのみならず、たくさんの学生たちもより楽しむことができる輝薨祭を開催することができました。また、魔法をテーマに学内にはたくさんの装飾を行い、より華やかに、そして多くの写真スポットも用意しました。

今年度のテーマはさらにコロナの規制も緩和され、より楽しめる輝薨祭になって欲しいという願いを込めて「輝薨祭 楽しむ鹿なくない!？」というものに決まりました。昨年度も多少の規制があり模擬店の数も制限されていましたが、模擬店の数を増やし、昨年度以上にコロナが流行する以前の輝薨祭を取り戻して行きたいと思います。他にも、新しい企画を加え、進化した輝薨祭にできればと考えております。

また、今年度は海をテーマにした装飾を沢山行う予定です。

今年度の輝薨祭の日時は11月18日(土)、19日(日)となっています。素晴らしい輝薨祭を開催するため委員一同尽力して参ります。

沢山の方にご来場いただければ幸いです。



会員の皆さまの 原稿を募集して おります

支会・同窓会の報告、在学時代の思い出、近況や最近思うこと、趣味や研究等お気軽にお寄せ下さい。内容によっては誌面の都合上、次号になる場合がありますのでご了承下さい。

500字程度(写真を添付して下さい)
で郵送、メールでお寄せ下さい。

送付先：

〒630-8301 奈良市高畑町

奈良教育大学内

一般社団法人奈良教育大学同窓会

竹柏会事務局「まほろば原稿」

E-mail：件名「まほろば原稿」

nakyodoso130@gmail.com



事務局だより

◎今年度から「奈良教育大学同窓会ホームページ」の充実を図り、会員の皆様に観て頂くことで同窓会の活動へのご理解を広め、深めていただく一助にしたいと思っています。パソコン等でホームページを検索頂くか、QRコードを読み取ることでホームページを開くことができます。

◎未来を育む基金(奈良教育大学基金)のパンフレットを同封しました。主旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

◎まほろば36号は、全会員に発送しています。**住所変更等がありましたら事務局までご連絡ください。**

◎同窓会は皆様の会費で活動しています。会費の納入にご協力ください。

◎個人情報の保護には、万全を期しています。



奈良教育大学
同窓会
ホームページ

編集 後記

山々は^{そら}宙を覆うほどの迫力で夏を迎えました。学舎の庭の桜も楓も楠も時をしのばせる幹から若枝を勢いよくのばしています。

竹柏会会報「まほろば」には、お元気な老会員から、そして学生からにぎやかな声が届けられてはち切れそうです。ページを増やしてお届けします。

一般社団法人 奈良教育大学同窓会竹柏会会報「まほろば」 第36号 発行：令和5年6月30日

発行所 一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会事務局 〒630-8301 奈良市高畑町 奈良教育大学内
TEL:0742-21-6101 FAX:0742-21-6102 郵便振替番号00930-1-238232

編集・発行 一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会

印刷所 関西印刷株式会社 〒630-8281 奈良市南半田中町19・20番地

—題字 故 川淵勝男元会長—